

# サイレン

広報

編集  
 釧路北部消防事務組合  
 広報委員会  
 27. 4. 1 発行

消防本部	(015)482-3276
弟子屈消防署	(015)482-2073
標茶消防署	(015)485-2021
鶴居消防署	(0154)64-2344
川湯支署	(015)483-2216

## 鶴居消防団 下幌呂消防部・女性消防部発足



女性消防団員による単身高齢者宅の防火査察

鶴居消防団では、平成26年4月1日付けで新たに第1分団下幌呂消防部、女性消防部を創設しました。近年住宅地造成等に伴い世帯数が増加している鶴居村下幌呂地区の防災拠点とし下幌呂消防部を創設。また、女性の持つソフトできめ細かな特性を活かし、村民や高齢者等の災害弱者に対する火災予防の指導や普及啓発、大規模災害時における救護活動等の充実を目的として女性消防部を創設しました。女性消防部では発足後、釧路管内女性消防団員研修会の参加や、中学校防災宿泊訓練に伴う炊き出し訓練の指導、単身高齢者宅の防火査察などの活動を行っています。これにより釧路北部消防事務組合が管轄する全消防団に女性消防部が組織されました。



鶴居消防団女性消防部



鶴居消防団第1分団下幌呂消防部



鶴居消防団通常点検の様子

平成26年度 全国統一防火標語

**もういいかい 火を消すまでは まあただよ**

### 平成27年 消防出初式

新春恒例の消防出初式が、1月4日弟子屈、5日標茶・鶴居、6日川湯において関係各位の協力のもと行われました。

また、ラッパ隊による演奏、伝統のはしご乗りやまとい振りも披露され、沿道の観客より多くの歓声を受けました。

本年の無火災及び住民の安心、安全を願うとともに、消防職団員一同より一層団結を固め、更なる職務の遂行を誓いました。



川湯：はしご乗り



弟子屈：ラッパ隊



標茶：まとい振り

平成26年度

消防アラカルト

### 釧路北部消防事務組合 総合演習

5月11日(日)、標茶町において釧路北部消防事務組合総合演習を実施しました。演習には、組合の職団員232名と車両17台が参加し、観閲式や分列行進を行いました。標茶町開発センター敷地内において行われた模擬火災訓練では、広範囲に及ぶ火災の発生を想定し、組合職団員が一丸となり火災防御活動を展開しました。



模擬火災訓練の様子

### 第59回釧路管内消防団員技能競技大会

9月13日(土)、「第59回北海道消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会」が釧路市消防訓練場で開催され、管内9消防団から「小型ポンプの部」に15チーム、「消防ポンプ自動車の部」に14チームが参加し、訓練の成果を競い合いました。

小型ポンプの部は惜しくも入賞とはなりませんでしたが、消防ポンプ自動車の部では、鶴居消防団第1分団が優勝、標茶消防団第3分団が3位に入賞し、素晴らしい成績を収めました。



弟子屈消防団：競技中の様子



消防ポンプ自動車の部 優勝 鶴居消防団第1分団



消防ポンプ自動車の部 第3位 標茶消防団第3分団



### 鶴居消防団に救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車配備



鶴居消防団では、消防団員数の増加や地域防災力の充実強化に努めたことが認められ、総務省消防庁より「救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車」が無償貸付され、12月28日に納車式を行いました。



積載している資機材

近年多発する大規模な災害を受け、消防団の装備強化を図るため、車両には、小型動力ポンプをはじめとするコンクリートなどを切るエンジンカッターやチェーンソー、油圧救助器具など数多くの救助資機材が積載されており、火災、交通事故、自然災害など、有事の際の迅速な人命救助に活躍が期待されています。

### 基準適合通知書(表示マーク)交付



屈斜路プリンスホテル (弟子屈町)



ヘイゼルグラウスマナー (標茶町)

標茶町のヘイゼルグラウスマナーと弟子屈町の屈斜路プリンスホテルに基準適合通知書(表示マーク)が交付されました。この制度は、ホテル・旅館等の施設が防火管理体制が一定の基準に適合していれば表示マークを掲出することができ、利用者等に防火安全であることをお伝えする制度です。ホテル・旅館等の関係者からの申請に基づき消防機関での審査を経て基準に適合していると認められた建物に対して表示マークが交付されます。

### 機関員研修会

弟子屈町・標茶町・鶴居村に配属されてから5年未満の消防職員を対象に、ポンプ運用及び消防車両などの大型自動車運転技術の向上を目的とした機関員研修会を夏と冬の2回に分け開催しました。

研修会では、現場経験が豊富な先輩達が講師となりポンプ運用に必要な知識・技術の習得に努めると共に仮設コースを走行する実技訓練を行いました。

この研修会を通しポンプ運用及び消防車両の運転技術が向上すると共に事故防止の意識も高めることができました。



アイスバーン走行訓練

### 緊急消防援助隊東北ブロック 合同訓練参加



救助活動訓練の様子

10月22日(水)23日(木)、青森県弘前市において緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練が行われました。訓練では、青森県西部を震源とする最大震度6強を観測する内陸型地震の発生を想定とし、消防、

自衛隊、警察、開発局などの防災関係機関や医療機関、DMATと連携した大規模な訓練が行われました。釧路北部消防事務組合からは弟子屈消防署1名、鶴居消防署1名の計2名が後方支援隊として参加し、宿営場所の設営や食事の準備などといった後方支援活動を行い、実際に設営したテント内で一晩を過ごし、災害対応訓練にあたりました。



訓練期間中の食糧管理

# 消防予算の執行状況

## 平成25年度 決算の概要

**歳入 1,392,449,193円**

**歳出 1,386,077,322円**



平成25年度釧路北部消防事務組合の歳入歳出決算額は上記のとおりであり、組合管内の消防救急デジタル無線整備工事が行われたため、例年に比べ大きな予算額となっています。主な内容は次のとおりです。

**歳入** 歳入予算額1,393,700,500円に対して決算額は1,392,449,193円となっており、歳入の主なる財源は、構成町村からの負担金1,182,408,500円で全体の85.0%を占め、国庫支出金が196,562,000円で14.1%、他は道支出金・手数料・諸収入・繰越金・財産収入等で13,478,693円、0.9%となっています。

**歳出** 歳出予算額は歳入予算額と同額であり決算額は1,386,077,322円で99.5%の執行率となっています。主な内容は消防署、消防団、消防施設、設備等に要した経費が721,140,970円で全体の52.0%を占め、さらに消防本部の運営に要した経費が663,203,878円で47.8%となっており、他は地方債償還元利金(公債費)172,526円で0.2%、歳入歳出差引不用額6,371,871円は平成26年度予算へ繰越されました。

各項目及び構成町村別の決算内容は次の表のとおりです。

### 平成25年度 歳入決算費目別内訳

(単位：千円・%)

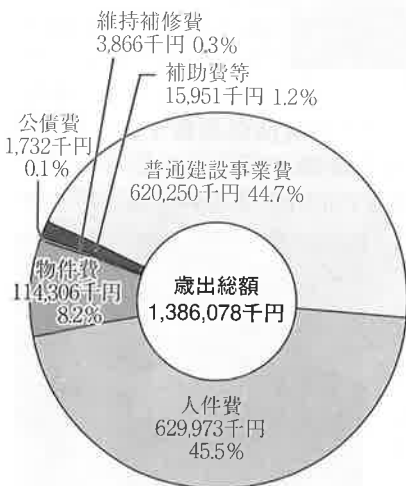
費目	区分	予算額	決算額	収入率
分担金及び負担金		1,182,409	1,182,409	100.0
内訳	弟子屈町	484,072	484,072	100.0
	標茶町	440,753	440,753	100.0
	鶴居村	257,584	257,584	100.0
使用料及び手数料		213	189	88.7
国庫支出金		196,562	196,562	100.0
道支出金		1,868	1,868	100.0
財産収入		2,652	2,653	100.0
繰越金		6,941	6,941	100.0
諸収入		3,056	1,827	59.8
計		1,393,701	1,392,449	99.9

### 平成25年度 歳出決算費目別内訳

(単位：千円・%)

費目	区分	予算額	決算額	執行率
議会費		564	519	92.0
総務管理費		662,606	661,988	99.9
監査委員費		699	697	99.7
消防署費		648,464	644,113	99.3
消防団費		50,884	48,787	95.9
消防施設費		28,279	28,242	99.9
公債費		1,905	1,732	90.9
予備費		300	0	0.0
計		1,393,701	1,386,078	99.5

### 平成25年度 性質別経費決算内訳



### 平成25年度の主な事業

(単位：千円)

事業名	事業費	施設・設備・配置場所
消防救急デジタル無線整備実施設計委託料	13,125	釧路北部消防事務組合管内アナログ方式の消防無線からデジタル方式の消防無線に移行するための基本設計に基づく実施設計委託
弟子屈消防署管内デジタル無線整備事業	198,450	アナログ方式の消防無線からデジタル方式の消防無線に移行するための整備工事
標茶消防署管内デジタル無線整備事業	226,275	
鶴居消防署管内デジタル無線整備事業	148,575	
組合管内デジタル無線無線整備工事施工管理業務委託	8,489	組合管内デジタル無線工事の施工に関する工程監理、品質監理、工事指導業務の委託
耐震性貯水槽建設事業	17,923	①鶴居村幌呂東2丁目②鶴居村字雪裡原野北27線60㎡型耐震性、FRP二次製品
救助用資器材購入事業(石油貯蔵施設立地対策交付金事業)	1,974	鶴居消防署 空気呼吸器、空気呼吸器用高圧空気容器、三連梯子、スケッドストレッチャー
消防庁舎仮眠室改修工事	5,439	標茶消防署 庁舎仮眠室の個室化改修工事
計	620,250	

# 平成26年、弟子屈町・標茶町・鶴居村の火災概要

## 損害額、6年ぶりに1億円を超える!



### ▶平成26年中の火災発生状況と前年の対比表

平成26年中の弟子屈町・標茶町・鶴居村管内における火災件数は17件で、前年に比べ1件の減少となっていますが、建物火災の増加により平成20年以來の6年ぶりに損害額が1億円を超えました。

火災から大切な生命・財産を守る為に、日頃から防火意識を持ちましょう。

年別(平成)	区分	総出火 件数 (件)	建物火災 件数 (件)	車両火災 件数 (件)	その他の 件数 (件)	焼 損 面 積 等			死傷者数(人)		り 災 世帯数 (世帯)	損害額 (千円)
						建 物 (㎡)	車 両 (台)	その他	死者	負傷者		
26 年 中	弟子屈町	4	4	0	0	4,203.0	0	0	1	2	2	166,174
	標茶町	9	6	2	1	633.0	2	185㎡	0	0	2	15,123
	鶴居村	4	1	2	1	2.0	2	0	0	0	0	1,015
	計	17	11	4	2	4,838.0	4	185㎡	1	2	4	182,312
25 年 中	弟子屈町	7	3	4	0	270.0	4	0	0	1	2	12,342
	標茶町	9	4	3	2	299.0	3	1台	0	1	2	7,927
	鶴居村	2	1	1	0	68.0	1	0	0	0	0	3,376
	計	18	8	8	2	637.0	8	1台	0	2	4	23,645

## 平成26年中の救急出動件数は1,087件!ドクターヘリ出動50件

### ▶救急出動件数及び搬送人員の推移

平成26年中	救急出動件数	1,087件 (弟子屈町622件 標茶町329件 鶴居村136件)	Drヘリ出動 50件 (弟子屈町23件 標茶町17件 鶴居村10件)
	搬送人員	1,038人 (弟子屈町592人 標茶町320人 鶴居村126人)	Drヘリ搬送 49人 (弟子屈町23人 標茶町16人 鶴居村10人)
平成25年中	救急出動件数	981件 (弟子屈町547件 標茶町300件 鶴居村134件)	Drヘリ出動 53件 (弟子屈町24件 標茶町16件 鶴居村13件)
	搬送人員	948人 (弟子屈町534人 標茶町285人 鶴居村129人)	Drヘリ搬送 48人 (弟子屈町23人 標茶町16人 鶴居村9人)

救急車配置先

- 弟子屈消防署
- 川湯支署
- 標茶消防署
- 鶴居消防署



平成26年中における救急出動件数は1,087件で前年と比較すると106件の増加になっています。搬送人員は1,038人で、前年より90人の増加となっています。このことは、弟子屈町・標茶町・鶴居村管内で1日当たり約3件の救急事故が発生し、町村民の約18人に1人が救急隊によって搬送されていることとなります。また、搬送人員を事故種別で見ると、急病533人、転院搬送275人、一般負傷140人でこの3種別が上位を占めており、その他(火災・労働災害・運動競技・交通事故・自損行為・加害・その他)90人となっています。また道東ドクターヘリの運航状況については、平成26年中の総出動件数は383件、その内当組合管内では出動50件、搬送人員49人となっています。



氏名 加藤 利器  
(23歳・救急救命士)  
出身地 弟子屈町  
勤務先 弟子屈消防署



氏名 堀内 一磨  
(21歳)  
出身地 釧路市  
勤務先 標茶消防署



氏名 中川 貴之  
(20歳)  
出身地 標茶町  
勤務先 標茶消防署



氏名 加藤 大輝  
(22歳・救急救命士)  
出身地 鶴居村  
勤務先 鶴居消防署



氏名 古瀬 翔太  
(22歳・救急救命士)  
出身地 弟子屈町  
勤務先 川湯支署

**新採用職員紹介**  
平成26年度に採用された職員を紹介いたします。

各消防署・支署における救急救命士資格取得者数

弟子屈	川湯	標茶	鶴居	合計
12	8	8	9	37

### 弟子屈町 第1回川湯消防開放日



はしご車乗車体験



消火器使用体験

9月21日(日)、川湯消防では初の試みとなる「消防開放日」を開催しました。体験コーナーや展示コーナーには、多くの来場者で賑わいました。中でも、はしご車の乗車体験は盛況で、イベント終了まで列が途切れることはありませんでした。他にも、消火器の使用体験や消防車による放水体験など、楽しみながら消防の業務を知ってもらうことができました。

### 標茶町 機分内少年消防クラブ 歳末火の用心巡回

平成26年度は、視察研修・消防車両での火災予防広報、歳末火の用心巡回と地域の防火活動に一生懸命取り組みました。

歳末火の用心巡回では、年末で慌しい中での火気の取扱いについて注意を促した他、火の用心のポイントが記載されているポケットティッシュを配布しました。



歳末火の用心巡回

### 弟子屈町・標茶町 女性防火クラブ員の防火活動



保育園訪問の様子(標茶町)

標茶・弟子屈女性防火クラブでは視察研修、防火訪問、街頭広報、炊き出し訓練、救急講習、消火器具の取扱いなど多彩な活動を毎年継続して行っています。この活動によりクラブ員の火災予防の知識習得と共に、地域への防火の普及啓発活動に大きく貢献しています。



街頭広報の様子(弟子屈町)



救急講習の様子(標茶町)

### 標茶町 第24回防火祭

7月27日(日)、「標茶町子どもの夢を育てるまつり」に併せ第24回防火祭を開催しました。ダンボール迷路やミニ消防車コーナー、防火イラスト風船を配布し防火を呼びかけました。



ミニ消防車の試乗体験



新コーナーの胸骨圧迫体験

新コーナーとして胸骨圧迫体験を行い1分間に119回圧迫できた方にはピタリ賞を贈呈するなど大勢の子ども達が集まり賑わいました。

### 鶴居村 第2回消防キッズフェア

4月29日(日)、「第2回消防キッズフェア」を開催しました。昨年に引き続き住民の皆様から寄贈されたこいのぼりに防火の願いを込めて子供達と一緒に掲げたほか、川湯支署の協力のもと、はしご車の乗車体験を行いました。

今回は新たに煙体験ハウスやストラックアウトなどを行い、楽しいイベントを通し子供達に消防や防火についてふれ合い、学んでもらうことができました。



ストラックアウトに挑戦する子供



子供達が掲げたこいのぼり



### 弟子屈町 女性消防団員の活動

弟子屈消防団女性消防部では、子供の火遊び防止を目的とした紙芝居「くまくんのたんじょうび」を製作しました。

11月1日(土)、町内の保育園を訪問し初披露したところ、園児たちは身を乗り出して真剣にお話を聞き、「火遊びは絶対にしない」と約束をしていました。女性ならではの発想



紙芝居の様子

を生かした活動は地域の防火啓発に大きく貢献しています。

### 弟子屈町・鶴居村

#### 防火スポーツ大会開催

弟子屈、川湯、鶴居の各地区にて防火意識の高揚、健康増進、地域住民の親睦を深めることを目的とした防火スポーツ大会を開催しました。ソフトバレーボールやパークゴルフ、ゲートボールの大会を実施し競技に併せて消火訓練、住宅用火災警報器、AED（自動体外式除細動器）の使用方法



防火ソフトバレーボール大会(弟子屈町)

などの説明を行い地域住民の方々とスポーツと共に防火意識を高めました。



ゲートボール大会(鶴居村)

### 弟子屈町 道東地区消防職員意見発表会

1月22日(木)、帯広市において第39回道東地区消防職員意見発表会が開催され、釧路管内の消防職員を代表して弟子屈消防署から村田幸治消防士が出場しました。村田消防士は「10年経った今」と題し、住民によるAEDの使用が認められ10年経った今の設置数、使用率などの統計から、AEDの更なる使用率の向上に向けて、設置場所を容易に見つけることができる「AED標識」の設置や維持管理の不備解消に向け「AED管理協議会」を設置するという2つの対応策を発表しました。全道大会への進出は惜しくもありませんでしたが、今後、この発表で述べた2つの対応策が将来実現し、救命率向上につながっていくことが期待されます。



発表する村田消防士



消火器の取扱いを学ぶベトナム人

### 標茶町

#### 外国人も火の用心

技術実習として日本にベトナム人が受入られており、その一環として非常時の対応を学ぶために標茶消防署で防災教室を行いました。昨年度は4回実施して合計38名が消防車両の見学や消火器の取扱いなどを学びました。実習生は母国を離れ約3年後に帰国するとのことです。

### 弟子屈町 弟子屈防火管理協議会の事業

弟子屈防火管理協議会では仁多地区に設置している防火広報看板を更新しました。看板には、弟子屈町のシンボルマークや摩周湖農業協同組合のマスコットキャラクターが描かれており、「火の用心お願いします」と呼び掛ける親しみのある防火看板となっています。また、全国各地で地震や豪雨等の災害が多発していることから緊急時に備え、会員へ非常持ち出し袋の配布事業を実施しました。筒井会長は「一人ひとりが防火意識を高め、いざという時のために備えてほしい。」と呼びかけていました。



非常持ち出し袋を手渡す筒井会長(写真左)

### 釧路北部消防事務組合 議会議員 行政視察研修



石巻地区広域消防本部庁舎前



かさ上げ工事用ベルトコンベア

釧路北部消防事務組合議会議員は7月14日から17日の4日間、東日本大震災の被災地である宮城・岩手両県を視察しました。宮城県、石巻地区広域消防本部では、津波被害の現状と災害時の活動状況を伺いました。

また、翌日は岩手県、遠野市消防本部で、後方支援体制と関係機関との連携に対する取組みについて伺い、釜石市、陸前高田市の津波被害の状況と復興事業を視察しました。

# 消防人に栄えある受章

平成26年度  
定例表彰

平成26年度の消防定例表彰が各関係機関から授与されました。この受章は永年、消防・防災活動に従事され、地域防災の発展と住民の生命・身体・財産の保全に尽くされた功績が高く評価されたものであります。今後、さらに消防職団員が地域の方と連携し防災活動に尽力されますよう期待します。

受章者は次のとおりです。

(勤続章は20年以上、順不同、敬称略)

◎消防協会釧路地方支部長表彰

- 勤続章45年〈1名〉  
川湯消防団 部長 中原 忠男
- 勤続章35年〈4名〉  
弟子屈消防団 副団長 上村 保範  
標茶消防団 副団長 三木島洋一  
標茶消防団 班長 山本 孝司  
標茶消防団 班長 藤原 仁志
- 勤続章25年〈7名〉  
弟子屈消防団 班長 古瀬 公一  
弟子屈消防団 班長 金澤 賢二  
川湯消防団 班長 瀬原 栄一  
標茶消防団 班長 小山内政二  
標茶消防団 班長 遠藤 昭  
標茶消防団 班長 野田 雄一  
標茶消防団 団員 野竹 信好

◎平成26年春の叙勲

- 瑞宝単光章〈1名〉  
元鶴居消防団 副団長 山口 絃美

◎第22回危険業務従事者叙勲

- 瑞宝単光章〈1名〉  
元消防本部 消防司令 古屋 勝

◎死亡叙勲

- 瑞宝単光章〈1名〉  
元川湯消防団 分団長 山本 昭義

◎消防庁長官表彰

- 永年勤続功労章〈3名〉  
標茶消防団 分団長 麻野 孝行  
鶴居消防団 副分団長 澁谷 松男  
弟子屈消防署 消防司令 西川 進

◎北海道知事表彰

- 勤続章30年〈4名〉  
標茶消防団 副団長 蛭名 嘉章  
標茶消防団 副分団長 藤原 利洋  
標茶消防団 部長 森田 泰彦  
標茶消防署 消防司令 高橋 勝

- 勤続章20年〈7名〉  
標茶消防団 部長 鈴木 重充  
標茶消防団 団員 小沢 浩一  
標茶消防団 団員 二色 勝博  
川湯支署 消防司令補 宮崎 貴親  
標茶消防署 消防司令補 加藤 悦久  
標茶消防署 消防司令補 田中 稔  
鶴居消防署 消防司令 早川 宜志

◎日本消防協会長表彰

- 精績章〈1名〉  
鶴居消防団 副団長 松井 廣道

勤続章〈5名〉

- 標茶消防団 副団長 蛭名 嘉章  
標茶消防団 副分団長 藤原 利洋  
標茶消防団 部長 森田 泰彦  
鶴居消防団 部長 澁谷 忠裕  
標茶消防署 消防司令 越善 忍

◎北海道消防協会長表彰

- 特別功績章〈2名〉  
弟子屈消防団 分団長 筒井 庄一  
標茶消防団 班長 真野 祐一

功績章〈4名〉

- 弟子屈消防団 副団長 金川 礼光  
鶴居消防団 分団長 菊地 哲男  
鶴居消防団 分団長 渡部 隆信  
川湯支署 消防司令 金子 賢一

勤続章30年〈2名〉

- 弟子屈消防団 班長 佐々木光司  
標茶消防署 消防司令 高橋 勝

勤続章20年〈11名〉

- 弟子屈消防団 班長 粥川 裕光  
弟子屈消防団 団員 江間 勝則  
弟子屈消防団 団員 松田 朋史  
標茶消防団 班長 小渡 幸次  
標茶消防団 団員 小沢 浩一  
標茶消防団 団員 二色 勝博  
標茶消防団 団員 河合 信子  
川湯支署 消防司令補 宮崎 貴親  
標茶消防署 消防司令補 田中 稔  
鶴居消防署 消防司令 早川 宜志  
鶴居消防署 消防司令 加藤 博由

◎釧路北部消防事務組合長表彰

- 勤続章40年〈2名〉  
弟子屈消防団 分団長 筒井 庄一  
標茶消防団 班長 真野 祐一
- 勤続章30年〈2名〉  
弟子屈消防団 班長 佐々木光司  
標茶消防署 消防司令 高橋 勝
- 勤続章20年〈11名〉  
弟子屈消防団 班長 粥川 裕光  
弟子屈消防団 団員 江間 勝則  
弟子屈消防団 団員 松田 朋史  
標茶消防団 班長 小渡 幸次  
標茶消防団 団員 小沢 浩一  
標茶消防団 団員 二色 勝博  
標茶消防団 団員 河合 信子  
川湯支署 消防司令補 宮崎 貴親  
標茶消防署 消防司令補 田中 稔  
鶴居消防署 消防司令 早川 宜志  
鶴居消防署 消防司令 加藤 博由

## 平成26年度 消防功労者総務大臣表彰

7月4日(金)、東京都にて平成26年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰の授与式が行われ、鶴居消防団櫻橋敏夫団長に「消防功労者総務大臣表彰」が授与されました。

この表彰は、広く地域消防のリーダーとして地域社会の安全確保、防火思想の普及、消防施設の整備や災害の防御に関する対策の実施について尽力された団員を対象としたもので、櫻橋団長は平成10年に鶴居消防団長に就任以来、「火災のない村づくり」をモットーに消防力の強化に努め、水槽付消防ポンプ自動車の配備や昨年4月には下幌呂消防部、女性消防部を創設するなど長年に亘り鶴居村の防災に尽力されてきました。その功績が認められ栄えある消防功労者総務大臣表彰を受賞されました。



大石副組合長に受賞を報告した櫻橋団長